

「省エネの方法を調べよう」の学習活動・内容

The worksheet is titled "B. 省エネルギー 省エネの方法を調べよう". It features a line graph showing the growth of household electricity from 1970 to 2000. The graph is divided into three stacked areas representing different categories of electricity use. To the right of the graph is a table with three rows, each corresponding to a category: エアコン (Air conditioning), 冷蔵庫 (Refrigerator), and 照明 (Lighting). Each row has a small icon and a space for notes. Below the table is a large empty box for writing conclusions.

「家庭用電力の伸び」のグラフの出典、横軸、縦軸を確認する。

子どもへの発問1

このグラフを見て、分かったこと、考えたこと、思ったことを箇条書きしなさい。

グラフを見て意見を書くというのは、大変難しい。5つ意見が出れば優秀である。

子どもへの確認2

いくつ書けましたか。5個以上の人、よくできました。5個の人？、6個の人？・・・。

順に挙手させ、発表させる。

子どもへの発問2

エアコン、冷蔵庫、照明の3つの家電製品の省エネ法を考えます。枠の中に書きなさい。

例をもとに考えさせ、順に発表させる。さらに、違う意見の子どもに発表させる。

エアコン、冷蔵庫などの省エネ法

「資料15 家庭用機器の使い方による省エネ効果」(P47)を参照。

チェック

グラフから分かったこと(例)

- ・電力の伸びは、2000年まで年々増えている。
- ・家電製品の普及とともに電力も増えている。
- ・72年度500億kWhだったのが2003年度1909億kWhと約4倍になった。
- ・2003年度、エアコン・クーラーが最も使用電力の割合が大きい。
- ・エアコン・クーラーの使用電力の割合は、近年、伸びている。
- ・使用電力の多い順は、エアコン・クーラー、冷蔵庫、照明用、テレビ。
- ・電気カーペットは、87年頃から急に普及。

家電製品の普及

「資料4 家電製品の普及と時代的背景」(P41)参照。「資料6 家庭における消費電力の割合」(P42)参照。

待機時消費電力量の割合が多いガス温水機器

「資料16 家庭の全消費電力に占める待機時消費電力量の割合と機器別内訳」(P48)参照。